



S t e r n a l P l a t e 手術器械

【禁忌・禁止】

(併用医療機器)

- ・ 他社製品 (指定製品以外) との併用 (「相互作用」の項参照)

【形状・構造及び原理等】

1. 組成

ステンレス鋼

★ステンレス鋼にはニッケルが含まれている。

2. 形状・構造及び原理等

本添付文書に該当する製品の製品名、製品 (カタログ) 番号、サイズ等については包装表示ラベル又は本体の記載を確認すること。

【原理】

骨接合手術等の骨手術に用いる手動式で再使用可能な手術器械である。

【使用目的又は効果】

骨接合手術等の骨手術に用いる手術器械であり、手動で使用する。また、本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1. 使用方法

1) 使用前

本品は未滅菌品のため、使用に際しては必ず洗浄を行い下記の条件又は各医療機関により検証され確認された滅菌条件により滅菌を行う。

製品 (カタログ) 番号

4760021, 4760031, 4760041, 4760071:

滅菌方法	高圧蒸気滅菌法	
	プレバキューム 1	プレバキューム 2
ラップ	二重包装	二重包装
滅菌温度	132℃	134℃★
最低滅菌時間	4 分	3 分
最低乾燥時間	45 分	45 分

★137℃まで上げることができる。

製品 (カタログ) 番号

4760061, 4760101, 4760111 :

滅菌方法	高圧蒸気滅菌法	
	プレバキューム 1	プレバキューム 2
ラップ	二重包装、又は、滅菌コンテナ	二重包装、又は、滅菌コンテナ
滅菌温度	132℃	134℃★
最低滅菌時間	4 分	3 分
最低乾燥時間	30 分	30 分
最低冷却時間	60 分	60 分

★137℃まで上げることができる。

製品 (カタログ) 番号

68.04.86, 14.48.05, 990.11.44, 990.11.45, 06.60.91, 713.30.05, 68.25.89, 990.11.46 :

滅菌方法	高圧蒸気滅菌法
	プレバキューム
滅菌温度	134℃
最低滅菌時間	5 分

2) 使用方法

構成品名 [製品(カタログ)番号]	使用方法
スクリュードライバー ハンドル[4760021]、 スクリュードライバー ハンドル インサート [4760031]	スクリュードライバーブレード用の手 動ハンドル。ハンドルとインサートを組 み合わせて使用する。ラチェット機能 を有する。
スクリュードライバー ブレード [4760041, 4760071]	スクリュー★を挿入するためのブレード。 手動ハンドル(スクリュードライバー ハンドル)又は電動式ハンドピース★と 組み合わせて使用する。
ドリルガイド [4760061]	ドリル★と共に使用し、スクリュー★挿 入用のパイロットホールを角度を適切 に制限する。
スクリューサイザー [4760101]、 キャリバー[4760111]	使用するスクリュー★の長さを決定す るため、骨の厚みを測る。
プレートベンダー [68.04.86, 14.48.05]	プレート★を曲げる。
プレートカッター [990.11.44]	プレート★を切断する。
プレートホールディ ングペン[990.11.45]	プレート★を把持する。
フォーセプス [06.60.91]	プレート★、スクリュー★またはドリル★ をつまむ。
リポジショニングフォー セプス [713.30.05, 68.25.89, 990.11.46]	切断した胸骨の両片を引き寄せる。

★本添付文書に含まない。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 表面の損傷や機械器具の変形を防ぐ為、各機械器具は丁寧に扱うこと。
- 2) ドリルや切断用の機械器具は鋭利であること、締結用機械器具はその締結部が摩耗していないこと、計測機能付き機械器具は目盛が視認可能であることを確認する。
- 3) 術前に、手術に必要な各機械器具が組み合わせて機能することを確認すること。また、使用前に、器具を作動させて摩耗や損傷がないかすべての部品を点検しておくこと。
- 4) 術中、インプラントと機械器具又は機械器具同士がしっかり接続されていることを繰り返し確認すること。
- 5) 中空構造を有する機械器具においては、術前、術中及び術後常に中空部分の清浄さを確認すること。[骨屑等が堆積し、ドリル等が抜けなくなることがある。]
- 6) 術野内で整備する際に機械器具に対して治療部位以外が損傷を受ける原因になるような過度な力をかけないようにすること。フォーセプスを使用する際は、切開線から離れすぎた部位で使用しないこと。骨質が悪い場合には特に注意し、過度な力をかけないこと。
- 7) 滅菌時間中、推奨する滅菌温度が維持されていることを担保するために、オートクレーブのバリデーション及び定期的な検査を行うこと。
- 8) 紙フィルターの滅菌コンテナを使用する場合は、滅菌毎に新しいフィルターを使用することを推奨する。
- 9) 標準的滅菌条件に従って滅菌した後、滅菌コンテナ又は機械器具の内外に水分が残っている場合、乾燥させた後に再度滅菌すること。
- 10) 滅菌について
 - ・ 包装材を用いる場合は、蒸気滅菌に適したものをを用いること。
 - ・ 腐食を防ぐため、適切に積載し、十分に滅菌・乾燥を行うこと。過剰に積載したり、機械器具同士を積み重ねたり、重量のある機械器具を他の器具の上に置いたりしないこと。また、蒸気を通ることを確認すること。

- ・ 滅菌の温度は指定の範囲内とすること。指定の温度を超えると機械器具が損傷したり、指定の温度を下回ると滅菌が不十分となったりするおそれがある。
- 11) この滅菌条件は、プリオンの不活性化、または、その他の耐熱性の血液媒介病原体の不活化に対して検証されていない。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品の原材料はインプラントを目的としたものではない。本品が破損した場合、術後合併症が起こる可能性があるため、破片が体内に残らないようにすること。
- 2) 生命の維持に必要不可欠な重要臓器、神経、血管の近くで機械器具を使用する場合は特に注意すること。
- 3) インプラントを抜去する際には、インプラントを挿入した際に用いた機械器具、又は該当するインプラントの抜去用の機械器具を使用すること。
- 4) 着脱可能な機械器具は術前に着脱確認を行うこと。

2. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

（1）併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の 名称等	臨床症状 措置方法	機序・危険因子
・他社製品（指定製品以外） ・専用以外の 機械器具	摩耗、緩み、摩耗粉、破損等が発生する可能性がある。	意図した使用ができず、インプラントを正確に骨に設置できない。

3. 不具合・有害事象

以下の不具合・有害事象が発現する可能性がある。

（1）不具合

【その他の不具合】

- 1) 本品の破損、変形、分解

（2）有害事象

【その他の有害事象】

- 1) 本品の不適切な使用または不具合による神経障害、麻痺、疼痛
- 2) 本品の不適切な使用または不具合による血管、軟部組織、臓器、関節の損傷
- 3) 感染症
- 4) 本品の不適切な使用による髄液の漏れ、血管の圧迫
- 5) ばね付きの機械器具において、意図せずばねを解放することにより生じる損傷
- 6) 術野内での操作における過度な力加わることによる損傷
- 7) 本品の不適切な使用または不具合による手術時間の延長
- 8) 骨の亀裂、骨折、穿孔
- 9) 破損した本品破片の体内遺残による、アレルギー、感染症、生物学的性質の合併症、破片除去のための再手術

上記の項目が不具合・有害事象の全てではない。

4. 高齢者への適用

高齢者は、骨粗鬆化している場合が多く、術中に過度の力を加えることにより骨折する可能性があるので慎重に使用すること。

5. その他の注意

本品にクロイツフェルト・ヤコブ病の汚染が疑われる場合は、当社安全管理部門に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法：高温、多湿、直射日光をさけて保管

【保守・点検に係る事項】

- 1) 本品使用後は、直ちに洗浄、すすぎ等の汚染除去を行った後、血液等異物が付着していないことを確認し、使用方法等欄に示す滅菌方法及び滅菌条件で滅菌を行い保管すること。

洗浄について

- 1) 汚染除去に使用する洗剤は、必ず医療用洗剤等、当洗浄に適したものをを使用すること。
- 2) 洗浄装置（超音波洗浄装置を含む）を使用する場合は、鋭利な機械器具同士が接触して損傷しないよう注意すること。
- 3) 超音波洗浄装置を使用する場合は装置の取り扱い説明書に従って機械器具の隙間、嵌合部に異物等がないことが確認できるまで洗浄すること。
- 4) 洗浄後は腐食防止のため直ちに乾燥すること。
- 5) ラチェットのある機械器具はラチェットをかけずに開いた状態にすること。
- 6) ボックスロック（合わせ部、交差部）のある機械器具は開く・分解するなどすること。
- 7) 可動部の動きをスムーズにするため、水溶性潤滑剤の使用が望ましい。
- 8) 以下を含む洗浄剤・消毒剤を使用しないこと。
 - ・有機酸、無機酸、酸化性酸（pH5.5より小さい）
 - ・苛性アルカリ溶液（pH10.9より大きい）
 - ・有機溶剤（アセトン、エーテル、アルコール、ベンジン等）
 - ・酸化剤（過酸化水素、次亜塩素酸塩等）
 - ・ハロゲン（塩素、ヨウ素、臭素等）を含む有機化合物
 - ・芳香族炭化水素、ハロゲン化炭化水素
- 9) 洗浄及び滅菌に使用する水は出来るだけ蒸留水・脱イオン水を使用すること。
- 10) 洗浄には柔らかいブラシ、スポンジ等を使い、洗い磨き粉、金属ブラシ等は使用しないこと。
- 11) 分解可能な機械器具は分解した状態で洗浄すること。
- 12) 複雑な構造を有する機械器具は隙間部、嵌合部を柔らかいブラシ等で入念に洗浄し、異物がないことを確認すること。
- 13) 機械器具の組み立てには専用のドライバ等を使用し確実にネジ止め、締め付けをし器具の破損、緩みの無いよう注意すること。
- 14) 中空状の機械器具の洗浄では、棒状のクリーナーで内部の組織・残屑を除去してから洗浄すること。
- 15) 洗浄及び消毒は、器械トレーから機械器具を取り出して行うこと。（4760061, 4760101, 4760111, 14.48.05, 990.11.44）
- 16) 洗浄の際、温度40℃を超える水又は洗剤を用いないこと。たんばく質が器具に付着し、除去が困難となったり洗浄が不十分となったりするおそれがある。
- 17) 洗浄装置を使用する場合は、十分に洗浄するため、機械器具同士が重なったり、動いたりしないよう配置すること。
- 18) 化学的消毒サイクルを行わないこと。機械器具に消毒剤が残留するおそれがある。
- 19) ステンレス鋼製の機械器具は生理食塩水（NaCl 水溶液）に入れないこと。長時間接触すると孔食や応力腐食割れなどの腐食が発生するおそれがある。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

日本ストライカー株式会社

連絡先電話：03-6894-0000（代表）